

ペット送り出し祭文

此の所に神籠立て、招ぎ奉り令坐奉る掛巻くも畏  
き親神天理王命の御前に恐み恐みも白さく

親神の広き厚き御恵みを嬉しび奉り辱けなみ奉り  
△△△△家はも家族三人心を合わせ朝な夕ないと  
睦じく明るく暮らされ世の勤務の道も極めて順調  
に辿られしが 家族同様に可愛く慈しみつゝ育て  
し秋田犬○○○が永の年月健やかにしを奇しき重  
き御病に冒され生命の限りと思ぼしき程に来世に  
又新しき望みをかけて止みなくこの家より送り出  
したり

こゝに○○○の御霊に幸多かれと祈りつゝ御酒御食  
海川山野の味物を捧げ奉りて拝み奉らくを諾い聞  
食し給い これより後も△△家の家族親族共々身  
も心も壮健に起き伏し出来るばかりでなく この  
家を芯とし陽気ぐらしの実が周囲の社会に次々そ  
の輪を拡がらめ給えと恐み恐みも乞祈み奉らくと  
白す